

東金市教育委員会会議録

平成29年4月（定例会）

1. 日 時 平成29年4月20日（木） 午後3時00分開会
2. 場 所 東金市役所 401会議室
3. 招 集 者 東金市教育委員会 教育長 飯田 秀一
4. 議 題 議決事項
第1号議案 東金市スポーツ推進審議会委員の委嘱について

報告事項

1. 諸報告
2. 学校医の委嘱について
3. 東金市立幼稚園の園長の任免について
4. 東金市社会教育委員の委嘱について
5. 東金市公民館運営審議会委員の委嘱について
6. 東金市図書館協議会委員の任命について

協議事項

1. 行事の後援について
(1) 東金市ミャンマー国際親善大会
2. 平成30年度千葉県教育予算及び人事に関する要望書について

その他

1. 東金市学校適正配置報告書について

- | | | |
|---------|----------|--------|
| 5. 出席委員 | 教育長 | 飯田 秀一 |
| | 教育長職務代理者 | 川嶋 美佐子 |
| | 委 員 | 小高 きみ江 |
| | 委 員 | 戸田 俊雄 |
| | 委 員 | 松寄 光孝 |

6. 出席職員

教育部長	鈴木 幸一	教育総務課長	醍醐 義幸
学校教育課長	澤畑 俊哉	生涯学習課長	栗原 伸治
スポーツ振興課長	佐久間英郎	中央公民館長	小川 孝司
東金図書館長	遠藤賢一郎	教育総務課副課長	飯塚 好男

教育総務課庶務係長 小倉 功照 教育総務課庶務係主査補 横山 修平

◎開 会

午後 3 時 0 0 分、飯田教育長より開会が宣告された。

◎日程第 1 会議録署名委員の指名

飯田教育長が議長となり、戸田委員を指名した。

◎日程第 2 前回の会議報告

飯田教育長 平成 2 9 年 3 月 2 2 日開催の東金市教育委員会定例会の会議録について、委員の意見を求める。

<異議なし>

◎日程第 3 議件

飯田教育長より第 1 号議案は人事に関する事項のため非公開とする旨の提案があった。
全員賛成のため東金市教育委員会会議規則第 1 2 条ただし書きの規定により非公開とする。

○第 1 号議案 東金市スポーツ推進審議会委員の委嘱について

飯田教育長 東金市スポーツ推進審議会委員の委嘱について事務局に説明を求める。

スポーツ振興課長 スポーツの推進に関する重要事項を調査審議することを目的とした「東金市スポーツ推進審議会条例」が 4 月 1 日に施行された。これに伴い、条例第 3 条に規定される審議会委員について、それぞれの団体から合計 1 0 名の候補者が選出されたため、市長の意見を伺った上で「東金市スポーツ推進審議会委員」に委嘱しようとするもの。なお、前回の定例会において、3 月時点で選出済の候補者については既に報告したが、以後に選出された候補者について、この場で提案する。なお、任期は、平成 2 9 年 5 月 1 日から平成 3 1 年 4 月 3 0 日までとなる。

飯田教育長 ただいまの説明で質問があればお願いしたい。

<質問なし>

飯田教育長 賛成の方は挙手を願う。

<全員賛成>

飯田教育長 スポーツ推進審議会委員の委嘱については全員一致で可決とする。

＜全員一致で原案どおり可決＞

第1号議案が終了したので、飯田教育長より非公開を解く旨の説明があった。

◎日程第4 報告

○1. 諸報告

(1)飯田教育長

前回の定例会で、人事関係については、県の小中学校の教諭ならびに幼稚園関係の内示があった。補足事項が1点。幼稚園の内示後、1人の園長から退職の意向が示されたため市の総務課と相談し、教育委員会でも退職校長の中で園長のなり手を探したが見つからなかった。このため新たな人事案を提出したところ総務課に認められた。小中学校については資料のとおりで無事異動関係は完了している。
その後、4月・5月の教育長行事予定に沿って説明した。

(2)教育部長

4月14日に東金市議会議員選挙後初めてとなる臨時議会が開催された。今回の臨時議会開催の主な目的は議会の人事関係である。初めに議長の選挙、次に副議長の選挙が行われた。各常任委員会の委員の選任や行政組合議会議員の選出、また各種委員等の推薦も行われた。最後に市長提案の5つの議案に対する質疑が行われ、採決の結果すべて可決承認された。議会の人事で主なものとしては、清宮議長、佐竹副議長が選出され、文教厚生常任委員会については委員長が土肥議員、副委員長に上野議員が選任された。

(3)教育総務課長

専決処分した後援申請の2件を資料に基づき説明した。

(4)学校教育課長

平成28年度千葉県標準学力検査結果を資料に沿って説明した。
・学力向上に関しては本市教育課題の大きな柱。
・校長会、教頭会、教務主任会等の各種会議を通して指導・助言していく。
平成29年度幼小中学校の園児・児童・生徒数および学級数について資料に沿って説明した。
平成29年度東金市幼・小・中学校職員合同着任者数について資料に沿って説明した。
平成29年度幼小中連絡表について資料に沿って説明した。
平成29年度東上総教育事務所訪問日について資料に沿って説明した。

長欠・不登校児童生徒数の推移について資料に沿って説明した。

- ・一人でも多くの長欠・不登校児童生徒が減るように、様々な機会を通して指導・助言していく。

学校教育課関係行事予定（４月・５月）について資料に沿って説明した。

(5)生涯学習課長 生涯学習課行事計画（４月・５月）について資料に沿って説明した。

東金文化会館利用状況について資料に沿って説明した。

- ・年間利用者数１２９，８４５人は前年度比７．３９％の減。
- ・興行系イベントの減少により利用者数の減少が考えられる。

※追加事項として

安曇野の小学生４年生から６年生までの約２０名が、交流事業として、７月８日と９日に１泊２日の日程で東金市を訪れる。１日目は城西国際大学の留学生と主として英語で交流し、東金市の小学生も参加して一緒に行く予定。その後、青年の家で夕食作りをする。長野県は海が無いこともあり、２日目は九十九里の海で地引網体験が予定されている。

(6)スポーツ振興課長 スポーツ振興課行事計画（４月・５月）について資料に沿って説明した。

- ・２２日に東金アリーナ陸上競技場にて青山剛が教える「体幹スイッチ」ランニングセミナー開催予定。青山氏は元プロのトリアスロン日本代表選手。

スポーツ施設の利用状況について資料に沿って説明した。

- ・東金アリーナ、東金青年の森運動公園、家徳スポーツ広場、トレーニングセンターの合計利用者２４１，６４０人。前年度比０．０８％増。

(7)中央公民館長 平成２８年度公民館事業報告について資料に沿って説明した。
平成２８年度公民館利用状況について資料に沿って説明した。
・全公民館８館の年間利用者は１２３，３９０人。前年より９．２６％の減。耐震補強工事により中央公民館を一時期休館した影響が考えられる。
公民館行事計画（４月・５月）について資料に沿って説明した。
平成２９年度公民館事業計画について資料に沿って説明した。

- ・子ども将棋教室は、講師の体調不良により今年度は中止となった。

(8)東金図書館長

平成28年度図書館主催事業実施報告について資料に沿って説明した。

- ・年2回の教養講座は好評のため各回とも定員を超過した。

平成28年度図書館利用状況について資料に沿って説明した。

図書館行事計画(4月・5月)について資料に沿って説明した。

- ・毎週土曜日に「おはなし会」を開催。4月5週目は趣向を変えて英語による「おはなし会」を開催する。

平成29年度図書館事業計画について資料に沿って説明した。

- ・図書3,650冊を新規に購入し、資料の充実を図る。

<休憩16:12～16:25>

飯田教育長

これまでの報告で質問があればお願いしたい。

川嶋委員

中央公民館長にお聞きしたい。講師の体調不良により、今年は将棋教室が開催されないとのことだが、違う講師を充てる選択肢はないか。

中央公民館長

講師として予定していた上野先生は日本棋院の役員も務めている。そのような人の代わりとなる講師が見つからなかったので、残念ですが中止とした。

飯田教育長

スポーツ振興課からオリンピックに関連して何か報告しておきたいことはあるか。

スポーツ振興課長

ケニアの陸上競技関係者が、東京オリンピックのキャンプ候補地として、東金アリーナを視察に訪れ、その際に私どもも立会った。視察団の中にはオリンピックメダリストのワキウリ氏もあり、皆、東金アリーナについて大変良い印象をもっていたと感じた。キャンプ地については、8月頃を目途に何らかの回答が出されると思う。

飯田教育長

東金アリーナ陸上競技場は女子サッカーなでしこリーグの会場として、先日開催された試合では、市長が始球式を務めて競技場も盛り上がった。両チームの社長は芝生を物凄く褒めていた。

○2. 学校医の委嘱について

学校教育課長

学校医に欠員が出たため教育長専決で1名を委嘱した。

○３．東金市立幼稚園長の任免について

学校教育課長 城西幼稚園長に異動予定であった職員が自己都合により退職する旨の申し出があったため、城西幼稚園長の新たな人事案を教育長専決とした。

○４．東金市社会教育委員の委嘱について

生涯学習課長 前回の定例会において８名の委嘱が承認された。前回上程できなかった３名を教育長の専決により委嘱した。

○５．東金市公民館運営審議会委員の委嘱について

中央公民館長 前回の定例会において６名の委嘱が承認された。前回上程できなかった２名を教育長専決により委嘱した。

○６．東金市図書館協議会委員の任命について

東金図書館長 前回の定例会で承認された委員の１人が辞任の意向を示した。その他２人の委員と併せて合計３名を教育長の専決により委嘱した。

飯田教育長 公民館運営審議会委員と図書館協議会委員は兼ねても良いか。

中央公民館長 特に支障なく問題はない。

および

東金図書館長

◎日程第５ 協議

○１．行事の後援について

（１）東金市ミャンマー国際親善大会

教育総務課長 申請団体は東金市トップワン委員会。ミャンマーの空手選手を受け入れ、地域の子供達と交流し、相互の技術向上、両国の空手の普及・発展に寄与する目的で開催するもの。城西国際大学アリーナで５月２０日土曜日に山武郡市の小中高校生など約１００人を集め、東京オリンピック・パラリンピックにおいて空手が正式種目になったことを記念して初めて大会を開催する。東金トップワン委員会は、東京オリンピック・パラリンピックを機に訪れる海外訪日客と交流の場を作ることが目的の国際交流団体。また、千葉県空手道連盟も主催者となっており、主管は山武郡市空手道連盟。後援は東金市と教育委員会の両方に申請が出されており、東金市は既に後援名義の使用を承認した。

＜全員賛成で承認された＞

○ 2. 平成 30 年度千葉県教育予算及び人事に関する要望書について

教育総務課長

要望に当たっては、今年度の要望書を元に新規に追加・変更・削除する箇所を検討する。事務局内部では内容についての変更は特になし。重点事項項目は文化財関係で 1 件のみ。その他に追加等があればご指摘願いたい。

<意見なし>

◎日程第 6 その他

○ 1. 東金市学校適正配置報告書について

学校教育課長

東金市では少子化時代を迎えて今後の学校適正化について、東金市学校教育問題検討懇談会に諮問し、同懇談会より平成 22 年 11 月に学校適正配置勧告書として提言を受けた。しかし、これまではその提言に該当する学校がなかったため、具体的な検討は実施しなかった。その後、平成 27 年 1 月に文部科学省から公立小学校・中学校適正規模適正配置等に関して、一定規模以下の場合は、すみやかに統廃合等を検討する必要があるとの指針が示された。国から新しい基準が示されたことで、これまでの提言に不適合な点が出てきたことから、新たな提言を求めるために、平成 27 年 12 月に東金市学校教育問題検討懇談会へ諮問し、検討を依頼した。同懇談会からは、7 回の会議を経て、本年 3 月に新たな提言がなされたところである。主な内容

適正な学校規模

小学校 1 校当たり 12 学級以上（1 学年当たり 2 学級以上）

中学校 1 校当たり 12 学級以上（1 学年当たり 4 学級以上）

※ 1 学級当たりの人数は上限 35 ～ 38 人

適正な通学距離

小学校 概ね 4 km 以内

中学校 概ね 6 km 以内

適正配置

複式学級がある小学校及び今後の児童生徒の減少により複式学級が見込まれる小中学校については、学校統合等により、適正規模

に近づけることを速やかに検討する必要がある。ただし、小中学校には、地域の伝統や歴史があり、また、地域のシンボル、コミュニティの中心、地域防災の拠点という機能があり、これらの機能の代替については、東金市公共施設全体の中で検討すべきと考える。

今後の具体策や方法については教育委員会が中心となり、各課連携して市長部局とも調整し、学校および地域と連絡を取りながら進めていきたいと考えている。

飯田教育長

ご意見・質疑等があればお願いしたい。私のから補足すると6月議会の前に報告書を東金市議会議員に周知しておく必要があると思う。

戸田委員

源地区においては、アンケートを取られているか。

飯田教育長

アンケートはまだ取っていないが保護者にまずは意見を聞いたほうが良いと考える。

小高委員

以前、笹引小学校（八街市）の近くに家・土地を買った人たちは、購入した土地が八街市ではなく「新極楽寺」と呼ばれる東金市極楽寺の飛び地であったため、笹引小学校ではなく東金市の源小学校に回された。この地域は学校から6キロほどの距離がありスクールバスで源小学校へ通っている。それから20年近く経っているので新極楽寺地区も高齢化が進んでいる。このため新極楽寺の子供達がどれくらい通ってきているのか、極楽寺、滝沢、酒造、三ヶ尻、上布田、山武市植草地区の子供も源小学校に来ている。越境の子供たちもいる。総人数や複式学級という視点以外にも源地区の実態を知りたい。

飯田教育長

事務局にて必要事項を調査する。

小高委員

4キロが小学校の適正範囲となると源小学校は既に新極楽寺の子供が来る段階で6キロという遠距離である。一層の遠距離通学となると安全面の確保も検討の必要がある。経済的だけではなく地域性も考慮して調べてもらいたい。

飯田教育長

千葉県内の小規模小中学校リストを個人的に作った。生徒数が少ない順に50番目まで作った中で源小学校は30番目くらいに入る。このリストの中で統廃合実施は約2割。国は必ずしも統廃合を強制していない。小規模でも少人数のデメリットをメリットに変える、メリットを更に増やすような対応を取った学校運営を検討するよう国は示している。

鈴木部長

ご指摘も含めて検討資料を作成する。地元アンケートを取るの

かなど、どういう形にするかは決まっていないが、地元の意向を調査したい。

飯田教育長

学校改編については事務局にて検討しているので、今後、その資料を示していきたい。

◎閉 会

午後５時１５分、飯田教育長より閉会が宣告された。